

令和元年度
事業報告書

学校法人 一川学園
越生自動車大学校
清和学園高等学校

目次

1	法人の概要.....	1
	(1) 建学の精神.....	1
	(2) 学校法人の沿革.....	1
	(3) 設置する学校・学科等及び学生数の状況.....	2
	(4) 役員の概要.....	2
	(5) 教職員の概要.....	3
2	事業の概要.....	4
	(1) 越生自動車大学校.....	4
	(2) 清和学園高等学校.....	5
3	財務の概要.....	6
	令和元年度決算の概要.....	6
	①資金収支計算書の概要.....	6
	②消費収支計算書の概要.....	6
	③貸借対照表の概要.....	6

1 法人の概要

(1) 建学の精神

本学園の建学の精神は、戦後の産業復興の中で次代を担う青少年の技術教育の必要性を痛感し、自動車技術養成の越生自動車学校整備科を創立した一川正壽が唱えた「行うことによって学ぶ」です。

その後の校名変更、改組等を経て、現在では専門学校越生自動車大学校、清和学園高等学校となっていますが、両校ともこの建学の精神を土台にして、越生自動車大学校では自動車・情報システム分野における専門的な技術者養成に取り組み、清和学園高等学校では普通科・自動車科に次いで調理科を開設し3年目を迎えました。通信制高校では初の自動車整備士、調理師の資格取得が出来る職業教育を中心とした学園です。

(2) 学校法人の沿革

昭和37年 9月	越生自動車学校整備課認可
昭和40年 4月	越生自動車技術学校と校名変更
昭和40年10月	自動車分解整備事業認証
昭和40年12月	運輸大臣指定 一種自動車整備士養成施設
昭和52年 9月	学校教育法改正により、専修学校越生工業技術専門学校と改組
昭和54年 2月	測量科認可
昭和55年 4月	専門課程自動車整備専攻科2年生認可
昭和55年11月	学校法人一川学園認可
昭和58年 4月	高等課程機械科3年生設置
昭和61年 3月	大学入学資格付与指定校
平成元年 3月	高等課程5階新校舎完成
平成 2年 4月	情報機械工学科認可
平成 3年 5月	情報システム工学科新設
平成 6年 3月	科学技術学園高等学校との技能連携開始
平成 7年 1月	工学系専門士の称号付与指定校
平成13年 4月	自動車整備科と科名変更
平成16年 4月	清和学園高等学校開校 自動車科・普通科設置
平成18年 4月	一級自動車整備科 設置
平成21年 4月	専門学校越生自動車大学校と校名変更
平成21年 4月	情報システム科と科名変更
平成24年 9月	創立50周年記念式典挙行
平成29年 4月	清和学園高等学校 調理科設置

(3) 設置する学校・学科等及び学生・生徒数の状況

令和元年5月1日現在 (単位：人)

設置する学校	学科	入学定員	収容定員	学生・生徒数
越生自動車大学校	一級自動車整備科	10	20	8
	自動車整備科	80	160	52
	情報システム科	10	20	4
	計	100	200	64
清和学園高等学校	自動車科	40	120	83
	普通科	80	240	137
	調理科	40	120	87
	計	160	480	307
学園計		260	680	371

(4) 役員の概要

令和2年3月31日現在

区分	氏名	形態
理事長	一川 高一	非常勤
理事	西澤 孝夫	非常勤
理事	中村 幸男	非常勤
理事	吉澤 武利	非常勤
理事	市川 治子	常勤
理事	山口 雄啓	非常勤
監事	波田 二三雄	非常勤
監事	佐々木 航	非常勤

(5) 教職員の概要

令和元年5月1日現在 (単位：人)

学校別	本務教員	兼務教員	本務職員	兼務職員	計
越生自動車大学校	14	4	4	0	22
清和学園高等学校	20	7	4	1	32
学 園 計	34	11	8	1	54

2 事業の概要

建学の精神「行うことによって学ぶ」及び校是・校訓に基づき、教育の質の確保、向上を図り、誠実で感謝の念を持った職業人となれるよう人材育成の教育を行っております。

また、少子化により志願者数が減少する中、学園の存続と更なる発展を期するため、高等学校に「調理科」を新設し3年目となり、第1期生が卒業しました。また、学生・生徒数の確保と徹底したコスト抑制を行い、財務体質の健全化を図りつつ、教育環境の整備を行って来ました。

(1) 越生自動車大学校

・学生募集活動

令和元年度入学生は、一級自動車整備科5名、自動車整備科25名、情報システム科1名の総数31名で、対前年比5名減という厳しい結果となりました。近隣高校からの入学者の落ち込みが要因となっていますが、その背景には高校生の就職状況が売り手市場で好調であること、そして若者の「クルマ」離れなどが考えられます。

依然として募集環境は厳しい状況ではありますが、次年度は考えられる様々な施策を打ち一人でも多くの入学者を確保し、入学者減少傾向に歯止めをかけていきます。

・進路状況

就職希望者は一級自動車整備科3名、自動車整備科22名の計25名で、全員が卒業式までに内定を得ることができました。また、一級への進学希望者3名が令和2年度に入学しました。

・資格検定

資格名	受験者数	合格者数	合格率
一級小型自動車整備士	3	1	33.3%
二級ガソリン自動車整備士	25	25	100.0%
二級ジーゼル自動車整備士	25	25	100.0%
フォークリフト運転技能講習	38	38	100.0%
ガス溶接技能講習	3	3	100.0%
アーク溶接特別教育講習	3	3	100.0%
ワープロ検定	6	5	83.3%
表計算検定	11	9	81.8%
プレゼンテーション検定	5	3	60.0%

(2) 清和学園高等学校

・生徒募集活動

令和元年度については、平成29年度に通信制高校としては全国初となる調理科が開校し、完成年度を迎える年となりました。調理科第一期の生徒全員が国家資格である調理師免許を取得することができました。調理科も三年目を迎え中学校の生徒や保護者にも認知されてきているように思われます。自動車科においては、三月の「三級自動車整備士」国家試験で88.9%という合格者を出すことができました。「行うことによって学ぶ」という本校の建学精神のもと自動車科と調理科においては、「三級自動車整備士」・「調理師」の国家資格の取得が可能のため、将来の目標がすでに決まっている生徒においては、選択しやすい学科です。

一方普通科においては、本来の通信制高校のスタイルである働きながら学べる週一日コースは、ここ数年中学校からの入学者・高等学校からの転編入生共に減少傾向にあり、生徒数はあまり増えていません。その一方普通科平日コースにあっては、多様化する生徒の学びの場として、全日制高校にない、弾力的なカリキュラムが生徒や保護者のニーズを捉えて増加する傾向にあります。少子高齢化が急速に進む中、本校としては、生徒一人ひとりに寄り添い、やればできるといった自己効力感を高められる取り組みを通して、生徒の夢や希望を叶えられる学校を今後も目指していきます。

令和元年度の生徒募集については、普通科平日コース35名・普通科週一日コース7名調理科34名・自動車科29名の合計105名という入学生でした。

・進路状況

コース	卒業者数	大学・短大	専門学校	就職	その他・未定
普通科（平日）	41	3	6	7	5
普通科（週一）	21	0	2	7	11
自動車	27	0	23	4	0
調理科	20	3	4	8	5
合計	109	6	35	26	21
パーセント		5.5%	32.1%	23.9%	19.3%

令和元年度は、調理科の完成年度となりました。求人数が389社と近年になく多くの求人が本校にも寄せられました。進学決定者は大学・短大への進学が6名・専門学校への進学者35名・就職26名となりました。今年度は大学・短大への進学者が昨年に比べ減少しました。一方専門学校への進学者のうち本校が併設する越生自動車大学校へは、21名が進学し、昨年度に比べ10名の増加となりました。増加の要因の一つに高等教育無償化があり、併設している越生自動車大学校もその対象校になったことが大きな要因の一つでもあります。通信制高校でも就職先がきちんと決定できる高等学校を今後も目指していきます。

・資格検定

資格名	受験者数	合格者	合格率
三級ガソリンエンジン整備士	27	24	88.9%
フォークリフト特別教育講習修了者	9	9	100.0%
アーク溶接特別教育講習修了者	29	25	86.2%
ガス溶接技能講習修了者	26	24	92.3%
乙種4類危険物取扱者	8	6	75.0%
丙種危険物取扱者	7	5	71.4%

3 財務の概要

令和元年度決算の概要

① 資金収支計算書の概要

学園の教育研究活動に関連する活動の収入と支出を示す「資金収支計算書」における学園全体の資金収支総額は、19億8,222万円となりました。

収入の部では、学生生徒等納付金収入が447万円の増加となり、2億6,632万円となりました。資産売却収入は9億7,227万円で、前年比1億4,884万円減少しています。その他、受取利息・配当金収入については前年度より1,775万円の増収となりました。

他方、支出の部では、人件費支出が増加しておりますが、教育研究経費支出・管理経費支出はともに前年度より減少しています。施設関係支出では、昨年度に引き続き60周年記念事業に向けての越生自動車大学校校舎建て替えの基礎設計・地質調査費等で949万円支出がありました。設備関係支出では、調理科の実験器具やサーバーの購入、校務システムの機能追加等で707万円支出がありました。

その結果、次年度繰越支払資金は3,356万円の減少となり、2億1,046万円となりました。

② 事業活動収支計算書の概要

学園の活動区分ごとの経営状況を明らかにする「事業活動収支計算書」においては、本業である教育活動の収支を表す教育活動収支差額が△1,913万円となりました。29年度に開設した調理科が3年目となり、学生生徒納付金は年々増加しておりますが、それ以上に人件費の増加755万円によりマイナス収支となりました。

経常的な財務活動による収支状況を表す教育活動外収支差額は、運用収益に支えられ、2,657万円のプラスとなりました。

特別収支差額では、6,813万円のマイナスとなり、結果として、学園全体での実質的な収支である基本金組入前当年度収支差額では6,069万円のマイナスとなりました。

③ 貸借対照表の概要

学園の財産状況を表す「貸借対照表」においては、資産総額は前年度末と比べ5,204万円減少し57億3,439万円となりました。創立60周年事業である越生自動車大学校校舎・実習棟新築工事のため、第2号基本金引当特定資産を4億円積み増し、その残高は8億円となっております。また、負債の部では、前年度から864万円増加の1億4,206万円となりました。純資産の部は、前年度56億5,301万円から基本金組入前当年度収支差額△6,069万円をマイナスした55億9,208万円となりました。